

- 問1 平安時代に藤原道長が全盛期を築いた「摂関政治」において、藤原氏が政治の実権を握り続けることができた仕組みとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 地方の武士を都に集めて軍勢力を強化し、天皇を武力で威圧することで、無理やり政治の全権を委譲させる仕組み | 2. 天皇が位を譲って上皇となったあとも、政治の窓口である「院」において実権を握り続け、藤原氏を排除する仕組み | 3. 家柄に関係なく、試験によって優秀な人材を官僚として採用し、藤原氏の配下として政府の要職に配置する仕組み | 4. 自分の娘を天皇の后とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の母方の祖父として政治を補佐する仕組み |
|--|---|--|--|
- 問2 平安時代後期に行われた「院政」と呼ばれる政治の仕組みや背景について、正しい説明はどれですか。 (2025年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 仏教による国家の安定を目指し、全国に国分寺や国分尼寺を建立して人々の心を掌握する政治。 | 2. 天皇が退位して上皇となった後、独自の役所を設けて摂政や関白を介さずに政治を行う仕組み。 | 3. 地方の混乱を抑えるために有力な武士を国司として派遣し、土地の管理を直接行わせる制度。 | 4. 藤原氏の娘を天皇のきさきとし、その子供を次の天皇に立てることで権力を独占する仕組み。 |
|--|--|---|---|
- 問3 平安時代末期、武士として初めて朝廷の最高職である太政大臣に就任し、一族で主要な官職を独占して政治の権力を握った人物は誰ですか。 (2015年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|--------|--------|
| 1. 北条時宗 | 2. 足利尊氏 | 3. 源頼朝 | 4. 平清盛 |
|---------|---------|--------|--------|
- 問4 遣唐使の派遣によってもたらされた平安文化の始まりに関する記述として、適切なものはどれか。高野山に金剛峯寺を建て真言宗を広めた空海と対比される、比叡山に拠点を置いた人物と宗派の正しい組み合わせを選択しなさい。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 空海 — 天台宗 | 2. 最澄 — 天台宗 | 3. 行基 — 浄土宗 | 4. 最澄 — 真言宗 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
- 問5 11世紀後半から始まった「院政」という政治形態について、その仕組みや背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2017年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 天武天皇が始めた、天皇に権力を集中させるため、有力な貴族を政治の中枢から排除する仕組み | 2. 光明皇后が推進した、仏教の慈悲の教えに基づき、貧しい人々を救済する施設を運営する仕組み | 3. 天皇が幼少の間、母方の親戚である藤原氏が「摂政」として政治の全権を代行する仕組み | 4. 天皇が位を譲って上皇となった後も、天皇の父や祖父として摂政・関白の力を抑えて政治の実権を握る仕組み |
|--|--|---|--|
- 問6 平安時代の天皇の呼び名は、しばしばその住まいの場所に由来します。一条天皇という名称の由来となった、当時の居住形態と立地に関する記述として正しいものはどれですか。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 藤原氏の勢力が増したことで、大内裏の中にある「一条」という名称の特定の私室に閉じ込められ、そこで政務を行っていたため。 | 2. 藤原道長の邸宅が一条大路から遠く離れた場所にあり、そこへ避難した際に「里(地方)」に住む天皇として揶揄されたため。 | 3. 三条天皇の治世から数えて第一の功績があったことを称え、平安京の中心を通る一条大路から名付けられた尊称であるため。 | 4. 本来の皇居である大内裏の外部に設けられた「里内裏」と呼ばれる仮の御所が、平安京の北端にある一条大路に面していたため。 |
|--|--|---|---|
- 問7 10世紀から11世紀にかけて、藤原氏が摂政や関白として政治の実権を握った時期、それまでの中国文化の影響を消化し、日本の風土や生活感覚に合わせた独自の文化が発達しました。この文化が形成された大きな背景として最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 聖徳太子が遣隋使を派遣し、仏教や大陸の優れた統治制度を積極的に取り入れたこと | 2. 菅原道真の建議によって遣唐使が廃止され、大陸との直接的な交流が途絶えたこと | 3. 平清盛が日宋貿易を推進し、宋の優れた技術や貨幣を大量に導入したこと | 4. 元寇によってモンゴル帝国の脅威にさらされ、国家意識が高まったこと |
|---|--|--------------------------------------|-------------------------------------|
- 問8 平安時代の貴族が営んだ、池を中心とした大規模な庭園を持ち、中心となる建物と左右の建物を「渡殿(わたどの)」と呼ばれる廊下でつないだ建築様式を何といいますか。 (2025年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 寝殿造 | 2. 合掌造 | 3. 校倉造 | 4. 書院造 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問9 10世紀後半、唐が滅亡した後に続いた分裂状態の中国を再び統一し、日本が平安時代の頃に栄えた王朝を何というか、名称として正しいものを選びなさい。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 元 | 2. 明 | 3. 宋 | 4. 隋 |
|------|------|------|------|
- 問10 9世紀末に遣唐使の派遣が停止された当時の東アジア情勢と、その後の日本への影響について述べた文として、正しいものはどれですか。なお、中国大陆の沿岸部から博多付近へと至る海上ルートでは、公式な使節以外による活動が行われていたことを考慮して答えなさい。 (2023年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 航海技術が未熟で遭難が相次いだため、商人の船も含めて海外との一切の交流が禁止され、完全な鎖国状態となった。 | 2. 唐へ留学していた僧侶の阿倍仲麻呂が帰国し、最新の仏教文化を伝えたことで、奈良の貴族文化が全盛期を迎えた。 | 3. 中国大陆で隋に代わって唐が建国されたため、新しい国交のあり方を検討するために一時的に交流を断絶した。 | 4. 唐が衰退して公式な交流の意義が薄れたが、商人による民間貿易は継続され、大陸の物資は日本に流入していた。 |
|--|---|---|--|
- 問11 平安時代中期、遣唐使の廃止などを背景に日本の風土に合った国風文化が栄えました。この時期にかな文字を用いて執筆され、主人公である光源氏の生涯を描いた、世界最古の長編小説とも評される文学作品を選びなさい。 (2024年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 1. 源氏物語 | 2. 竹取物語 | 3. 更級日記 | 4. 枕草子 |
|---------|---------|---------|--------|
- 問12 現在の一万円札の裏面には、ある建築物の屋根に据えられた「鳳凰像」が描かれています。この鳳凰像が象徴する建築物が建立された当時の日本の政治状況と、その背景にある思想について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 徳川家康が江戸幕府を開いて社会の安定がもたらされ、幕府の統治を正当化するために儒教の一派である朱子学が奨励された。 | 2. 聖武天皇が国ごとに国分寺を建立して中央集権化を図り、仏教の力で国家を守ろうとする鎮護国家の思想が定着した。 | 3. 源頼朝が鎌倉に幕府を開いて武家政治が始まり、厳しい修行によって悟りを開こうとする禅宗が武士の間で流行した。 | 4. 藤原氏が摂政や関白の職を独占する摂関政治が行われ、貴族の間で極楽浄土への往生を願う浄土信仰が広まった。 |
|--|--|--|--|
- 問13 平安時代末期、保元の乱や平治の乱で勝利した武士が政治の実権を握りました。この時期、武士として初めて朝廷の最高官職である太政大臣に就任し、一族で高い官位を独占して繁栄を築いた人物を選びなさい。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|---------|--------|
| 1. 藤原道長 | 2. 源頼朝 | 3. 白河上皇 | 4. 平清盛 |
|---------|--------|---------|--------|